

# ナマステ



特定非営利活動法人  
自然文化誌研究会 会報誌

## 119号

2015年3月20日発行号

第11回通常総会も終わりました、いよいよ春ですので、今後ともよろしくお願ひします！！  
3月は味噌づくりも上手にできました。味噌の完成が楽しみです！！  
小菅村は、いろいろな動きがありました！！

「INCHのゆかいな仲間たち」は今回はお休みです。  
今回は紹介記事が多い郷になりました。(事務局)

## 活動報告

### 「第10期ちえのわ農学校」

報告と新年度の募集内容です。

※ 新年度の募集締め切りが3月31日必着となっています。希望の方はまず一報、お問合せください！！

<2014年度代表 小故島怜樹さん(東京学芸大学3回生)からのご報告です>

こんにちは。私たち「サークルちえのわ」は東京学芸大学の学生サークルです。大学内にある農園を借りて、「ちえのわ農学校」と題して毎月1回地域の子もたちと食農体験活動を行っています。またINCHのキャンプにもスタッフとして参加させていただいてもいます。今回この場をお借りして「ちえのわ農学校」のご紹介と来年度(第11期)の参加者の募集をさせていただきますと思います。

### 【ちえのわ農学校とは】

ちえのわ農学校は、次の3つの“わ”を理念に、4月から翌年1月までの毎月1回(全10回)活動を行っています。

- \* 自然のわ: 自然の様々な表情と向き合いながら、「種から胃袋まで」の道のりを実践することで、命・自然とのつながりを五感で感じるきっかけづくりをする。
- \* 人のわ: 農学校だからこそできる体験を通じて子どもたちが仲間とのつながりを感じられるきっかけづくりをする。
- \* 知恵のわ: 昔ながらの知恵や文化にふれ、身近なものを見つめなおすきっかけづくりをする。

ちえのわ農学校では、お米作りや野菜の栽培を中心に様々な自然文化体験を行っています。第10期となる今年度は以下のようなことをしました。

#### 第1回(4月19日)

スタッフや他の友達との初対面。でもアイスブレイキングや農園散策をやるうちに緊張がほぐれて、帰る頃にはみんな笑顔でした。畑の活動では自分の育てる野菜を決め、種をまきました。「大きく育てて夏に収穫したら、こんなふうに食べたいなあ」といった目標も立てました。

#### 第2回(5月17日)

5月はみんなで田植えをしました。田んぼに1列に並んで、みんなで順番に「ちえのわ米」の苗を植えていきます。はじめは泥のぬかるんだ感触が気持ち悪いけど、みんなで植えていくうちにだんだん楽しくなっていくからこれが不思議。植え終わった後は隣の田んぼで泥遊び！みんな全身泥だらけです。そのあとはドラム缶風呂に入って温まります。秋にたくさんのお米が収穫できますように。

### 第 3 回(6 月 14 日)

6 月は「畑のコーディネート」と銘打って、自然農薬作りと畑に立てる看板作りをしました。

「ニンニクやトウガラシを使うと虫は嫌がるらしい」—子どもたちと共に私たちスタッフも勉強になることがたくさんあります。

看板は自分が育てている野菜だけではなく、他の友達が育てている野菜も一目でわかるように区画も作りました。「ここが自分たちの畑」感が強くなったとともに、より一層育てている野菜への愛着をもつことができたのではないのでしょうか。



### 第 4 回(7 月 12 日)

7 月は「みんなで“涼”をつくりだそう！」ということで、竹を使って風鈴や水鉄砲、うちわを作りました。のこぎりで竹を使いやすい大きさに切ったり、錐で穴をあけたり、それぞれが試行錯誤しながら作業しました。お昼には流しそうめんを食べました。暑さを忘れて、流れてくるそうめんにみんな夢中。水遊びもして元気に農園を駆け回りました。

### 第 5 回(8 月 23・24 日)

8 月はキャンプ！農園にテントを張ってみんなで 1 泊します。企画も盛りだくさん。

まずはヤマメさばき。生きたヤマメを自分の手でさばいて焼いて食べることを通して、命の大切やつながり、そして命をいただくということを学びました。

次は待ちに待った夏野菜の収穫。大きくなった自分の野菜を収穫する子どもたちの表情はとても嬉しそうでした。野菜の収穫のあとはローソク作りと蚊取り線香作り。それぞれ作りたい方に分かれて活動しました。ローソクは溶かしたロウにクレヨンで色を付けたり、それを卵の殻に流し込んだりして、自分だけのオリジナルローソクを作りました。みんなの完成したローソクを並べてみると、目にも鮮やか。とてもきれいでした。蚊取り線香は木くずと除虫菊を主な材料に作りましたが、これがなかなか難しい。失敗から学ぶことも多い、とはよく聞きますが、こんなとき身の回りの当たり前のものを見つめなおす瞬間に出会えるような気がします。

夕食も自分たちで作りました。昼間に収穫した野菜を使って、夏野菜カレー・グリーンカレー・トマトカレーの 3 種類のカレーを作りました。調理もみんなで手分けして、協力して進めます。完成したカレーはご飯とともに一気に売り切れ。ちえのわで栽培・収穫した野菜を調理し食べることで、「種から胃袋まで」の道のりを達成することもできました。

夜はナイトハイクと影絵遊びをしました。暗闇に包まれた夜の農園はいつもとまた一味違います。影絵遊びは、みんなでストーリーを考えました。子どもたちの協力し合う姿に、友情の深まりを感じました。2 日目には農園の植物の葉を使って染め物をしました。葉の形の違いを生かして工夫を凝らしたり、葉によって色の出方に違いがあることを発見したりと、子どもたちひとりひとりの個性がうかがえました。

### 第 6 回(9 月 13 日)

9 月は冬に向けた畑の活動をしました。8 月に決めておいた担当野菜の種をまきます。春に一度やっていることもあって、子どもたちの道具の使い方や種のまき方も慣れてきました。

また 9 月は畑でとれたシソを使って、シソジュースを作りました。シソを煮出したところにクエン酸を入れると鮮やかな色に変わって、一同「おおー！」。

田んぼの様子も見に行きました。毎月ちよとずつ田んぼの様子は見っていますが、今月は田んぼに網がかけられているのをすぐさま発見。これは鳥に稲穂をつつかれないようにするために、つまり少しずつお米ができていくという証拠。収穫までもう少し！



#### 第 7 回(10 月 11 日)

10 月はいよいよお米の収穫です。一人一本カマを持って、稲を刈り取っていきます。刈り取って、数束ずつひもでしばってまとめ、そしてそれを干しに行くという、なんとも地道で体力の要る活動でしたが、田んぼの稲はあっという間に刈り取られ、子どもたちのパワーをまざまざと感じる瞬間でした。

稲はひと月干しておいて、来月食べられるように加工します。

また 9 月はさつまいも掘りをしました。さつまいもといえば焼き芋！ということで、収穫したさつまいもをさっそく新聞紙とアルミホイルでくるんで、たき火に入れます。あつあつの焼き芋をほおぼって、収穫と秋の味覚を堪能することができました。

#### 第 8 回(11 月 15 日)

11 月は収穫したお米を、食べられるように加工していきます。そう、脱穀と精米です。足踏み脱穀機と唐箕を使って脱穀し、精米は精米機の力を借りました。また穂を外した稲わらは細かく切り、肥料になるように田んぼにまきました。稲を余すところなく有効に使うとする昔の人の知恵や工夫を感じながら活動することができました。12 月はいよいよちえのわ米がお昼ご飯に登場します。

#### 第 9 回(12 月 13 日)

12 月は、リースや門松を作ったり、わら工作をしたりしました。リースは植物のつるに、松ぼっくりや木の实、落ち葉を飾り付けてナチュラルリースを作りました。門松は、太い竹と細い竹のほかに葉っぱを飾り付けて、年末年始らしい作品ができました。わら工作は、ちえのわ米のわらを使って、しめ縄を作りました。午後は自分の作品を発表し合いました。子どもたちはそれぞれ、自分だけの冬を作れたのではないかと思います。

お昼は自分たちで育てたちえのわ米と、午前中に畑で収穫した野菜をふんだんに使ったご飯を食べました。夏野菜に続き、冬野菜もたくさん収穫に恵まれました。

また 12 月はお餅つきをしました。こちらもちえのわで栽培・収穫したもち米を使いました。重い杵を持って餅をつく子どもたちの表情は、大変そうながらもとても楽しそうでした。

#### 第 10 回(1 月 24 日)

1 月はいよいよ最終回。泣いても笑ってもこのメンバーと一緒に活動できるのはこれが最後。

まずは一年間お世話になった畑の片づけをしました。まっさらになってしまった畑に、いっそう寂しさを感じます。そして今度は一年間の活動を思い出しながら答えるクイズゲームをやりました。グループ対抗戦で、「これってこんなことしたよね」「この写真は 6 月のだよ！」と力を合わせて思い出します。ゲームは大盛り上がりで一年間を楽しく振り返ることができました。

午後は修了式を行いました。一年間の活動のスライドショーを見て、最後はみんな修了証を手に、スタッフと全員で写真を撮りました。寂しさを感じながらも、「またどこかで会いましょう」と笑顔でお別れをしました。

### スタッフより

はじめは緊張した表情をみせていた子どもたちが、ちえのわ農学校でしかできない出会いや活動を通して、スタッフと、そしてほかの子どもたちと仲良くなっていくのがとてもうれしかったです。実際にちえのわの活動が「楽しい」とか「来年もまた来たい」と言ってくれた子が多く、ちえのわ農学校が子どもたちにとって、自然の“わ”や人の“わ”を感じることでできる、ひとつの居場所になれたのではないかと思います。私たちスタッフも未熟ゆえ試行錯誤の日々でしたが、その子どもたちとの活動を通してたくさんのことを学ばせてもらいました。ちえのわ農学校を支えてくださった皆様、そして子どもたちには感謝の気持ちでいっぱいです。

## 【第 11 期ちえのわ農学校参加者募集】

サークルちえのわでは、平成 27 年度の参加者を募集しています！

対 象：小学 3 年生～中学 3 年生までの 14 名(応募者多数の場合抽選)

スタッフ：東京学芸大学学生を中心に 20 名程度

場 所：東京学芸大学 環境教育研究センターおよび彩色園

参加費：15,000 円(食費、保険、材料費等)

主 催：東京学芸大学「サークルちえのわ」(<http://www.gakugei-chienowa.org/>)

共 済：NPO 法人「自然文化誌研究会」(<http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>)

後 援：小金井市教育委員会

○お問い合わせ

Tel: 080-6730-4869(安見)

E-mail: [gakugei\\_chienowa@yahoo.co.jp](mailto:gakugei_chienowa@yahoo.co.jp)

※お問い合わせ後、詳しい資料をお送りいたします。資料をご覧の上お申し込みをお願いします。

※お申込みの締め切りは、2015 年 3 月 31 日必着。

3/31 が申し込む方の記入した資料の必着日となっています。ご興味のある方は、サークルちえのわ担当者まですぐにお問い合わせください。メールとFAXなら間に合います！！

○2015 年度 年間予定

月 1 回の土曜日 (全 10 回) 10:00～16:00 (日程・内容ともに変更する可能性があります)

日程	4/18	5/16	6/13	7/11	8/22,23	9/12	10/10	11/14	12/12	1/23
活動内容	開校式、農園散策、夏野菜の種まき	田植え	かかし作り	すだれ・風鈴作り	夏野菜料理、ヤマメさばき	冬野菜種まき	稲刈り、きなこづくり	脱穀・精米	もちつき、稲わら工作	修了式
	夏野菜の栽培					冬野菜の栽培				
	果物の調理・保存 自然を対象にしたあそびなど									

※活動内容の中で企画が未定な部分もありますが、子どもたちのやりたいことを聞きながら今後決めていきたいと考えています。また自由時間を設定し、季節ごとの農園散策やおやつ作りなど、子どもひとりひとりの、ふと持った興味を大切にしてお応じていきたいと考えています。